

令和7年4月14日

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和7年4月14日
開会 10時00分 閉会 11時13分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 岡本眞利子
副委員長 内山美穂子
委員 塚本逸彦 小田新紀 荒 貴賀
野原恵子 田口廣之 谷口和弥
副議長 中橋友子
議長 寺林俊幸
- 4 傍聴者 畠山美和 酒井はやみ
- 5 職務のため出席した議会事務局職員
事務局長 佐藤勝博 課長 岩岡夢貴 係長 渡辺 優
- 6 審査事件及び審査内容(別紙)
 - 1 議員定数及び議員報酬等の見直しについて(第5回)

議会運営委員会委員長 岡本眞利子

◇審査内容

1 議員定数及び議員報酬等の見直しについて（第5回）（10：00～11：13）

○委員長（岡本眞利子） ただ今から、議会運営委員会における議員定数及び議員報酬等の見直しについての5回目の会議を開きます。

議案の1、幕別町議会のあり方についてを議題といたします。

3月19日に開催しました第4回の会議では、委員のみなさまからさまざまなご意見をいただいた中で、本件の検討に当たっては「今後、幕別町議会はどうあるべきなのか、これからどうしていきたいのか。」といった視点を焦点化し、議論することを確認したところであります。

このため、本日は幕別町議会として今後、目指すべき方向性やその視点について、みなさまからご意見等をいただいた上で、本委員会で共通の認識をもって議論を進めてまいりたいと思っております。

それでは、この点についてご意見等がある方は、挙手を願います。

塚本委員。

○委員（塚本逸彦） 議題が非常に幅広いというか、漠然としていますので、まずその中で課題を挙げていったからのほうがやりやすいのかなと僕は感じましたが、いかがでしょうか。

○委員長（岡本眞利子） ただ今、塚本委員から範囲が広まったので、細かく議題を決めながら進めていったらどうだろうというご意見をいただきましたが、みなさまいかがでしょうか。

塚本委員。

○委員（塚本逸彦） その点もちょっと曖昧なのですけれども、広報広聴委員をずっとやってきて共通した部分があって、開かれた議会とか、身近な部分とか住民との距離が遠いとか、なかなか触れ合う機会がないよねという意見も結構挙がっていました。それぞれの議員活動もなかなか周知されていない部分があったり、議会そのもののやり方についての意見も挙がったりしたので、そういう挙がった意見の中から拾っていったらどうなのかなということも思っておりますけど、いかがでしょうか。

○委員長（岡本眞利子） 野原委員。

○委員（野原恵子） 塚本委員が今発言したように、全体が広いということであれば、議会としてどうなのか、それから議会のしくみとして、三つの常任委員会がありますよね、その常任委員会がどのように活性化されてきたのか、それから広報広聴委員会ですとかあるのですけれども、一つひとつどのように活性化させて、それがどのように町民に伝わってきているのか、それから議会としてのチェック機能がどのように議員として、議会として果たしてきたのか、細かく分ければいっぱいあると思うのですよね、それをどこまできちっと議題として、ここで議論していったら、そして定数がどうあるべきかというのを考えていくとわかりやすいのかなと思うのですよね。私は、チェック機能としての役割、議会としてどのように果たしてきたかというのは、きちんと全体で検証していくというのが一つあるのかなと考えていたのですけれども、どこからどういうふうに取り組んでいくのかということでは、きちんとみなさんと合意して進めていくことが必要

ではないかと思っています。

○委員長（岡本眞利子） ほかにいかがでしょうか。

議会のあり方という面で、最終的には議員個人が一つにまとまって幕別町議会になると思うのですけれども、その中で議会としてどのようにこの先取り組んでいくと、町民の方にも理解をしていただけるのか、その中には今、野原委員が言われたようにチェック機能とか、常任委員会の活性化などにも結びつくと思うのですけれども、そういう面を考えていきますと、やはり幕別町議会がどのようになっていくと町民の方に理解をしていただけるのかを考えると、この人数でも幕別町は少ないのだ、多いのだという意見にもつながっていくと思うのですけれども、いかがでしょうか。

小田委員。

○委員（小田新紀） ちょっと逸れてしまうかもしれないのですが、一つこの2年間で広報広聴委員会において、特に議会報告会とか、実践までには至らなかったのですが、広報という部分につきましては、ある程度ターゲットを絞っていこうというようなことは考えながら、その部分というのは、若い人たちというところに理解をしてもらったりだとか、町づくりに興味を持っていただいたりだとか、そしてその中で新しい議員のなり手というのが生まれてくればいいなという思いで、議会報告会の形を検討したりとか、広報紙についての検討を重ねてきたという経緯はあります。結論はあまりないのですけれども、方向性としてはそういった新しい地域には、いろんな思いを持った方々がたくさんいるということは、いろんな情報からあって、そういう方々から議会のほうに、議員になるかならないかは別としても、議会と共に歩んでいけるような、そういった仕掛けというのをしてきたということではあります。そんな思いでやっていました。

○委員長（岡本眞利子） ほかにいかがでしょうか。

田口委員。

○委員（田口廣之） 議員定数と報酬をどうするかという議論ですよね、やはり19人に定数を減らしたあと、どうなったかという大きく変化はあまりなかったかもしれませんが、幕別町にとって、議員定数がどうかというのは、同じことを言っているかもしれないけど、町民にとって、19人の議員定数が多いか少ないかということは、ほかの町村の資料もすごく参考になると思うのですけれども、やはりまだ行きついているところと、行きついていないところがあるのではないかと思います。増やさないといけないとか減らさないといけないとか、議論はくすぶっていると思うのですけれども、我が町として19人がどうかということをきちんと検証していかなければならないかなと思います。土地柄もあるし、いろんな要素というのは参考にした町村とは多少違っているところもあるので、例えば定数減らした後に、どういうことが起こったのかとか、事例も含めてもう少し材料が必要かなと思います。

○委員長（岡本眞利子） ほかにいかがですか。

荒委員。

○委員（荒 貴賀） 委員長がお話したとおり、幕別町議会がどういう方向性に向かうべきかというお話をされたのかなと思って、発言できない理由は、田口委員が言われたとおり、現状はどうなのかというのがなかなか出てこない中で、どうなのかというのもすごく難しいかなと思います。今、田口委員が言われたとおり19人になってどうなのか、い

をもっと発信していくということも必要ではないかと思うのですよね。一般質問ですとか、予算、決算ですとかそういったところで、議員がどういうチェック機能を果たしているのかということ町民のみなさんにお知らせすれば、議会はこういうことをやっているのだということが、住民に浸透していくというそういう手立てをもっと進めていく必要があるのではないかということが、議会のあり方として一つ。ほかにもいろいろありますけど、広報活動も工夫していく必要があるのではないかと思いました。その点はいかがですかね。

○委員長（岡本眞利子） 内山副委員長。

○副委員長（内山美穂子） 今、小田委員が広報広聴委員会で若い人に焦点を絞って、新たな取組をしているという話を聞いていまして、幕別町議会として目指すところは、町民の福祉の向上ためというのは一つなのですけれども、なかなか議会基本条例を昨年見直しする中で、いろいろ会派ごとに評価も分かれたのですけれども、やはりあれだけではわからない検証というか、今までの私たちの活動が果たして十分だったのか、足りなかったとすれば何が足りなかったのか。努力してやっているところもあるのですけれども、町民にとってわからなければ、先ほど岡本委員長が言ったように何しているかわからない議会につながっていると思うので、今回は時間的にどうかかわからないのですけれども、定数の見直しとか報酬の議論の前にもうちょっと例えば、モニター制度だとか、サポーター制度だとかそういったこちらから、広報広聴するというのもあるのですけれども、今の幕別町議会がどういう動きをしているのか外の視点で見てもらって、新たな気づきだとか、活かしていければいいかなと思っています。なので、言いたいことは、もうちょっと幕別町議会が目指しているところを知ってもらうためには、どうしたらいいかというのを考えていきたいなと思います。

○委員長（岡本眞利子） 塚本委員。

○委員（塚本逸彦） 私も確信がないので確認を込めてですけれども、この場でどこまで具体的な案を出していくのか。例えば、この場でやはりサポーター制度入れたほうがいいのではないかと、広報広聴委員会でやっている部分もあると思いますけれども、もしくは各常任委員会で、同じテーマに向けて活動していくようにする、または各会派、各議員に対してもそういった姿勢で臨んでいくというテーマにしていくのか、その辺をどこまで持っていけるのかというところは、ちょっと確認を含めてですけれども、具体的に出すのかなと、そこを目指さないとなかなかまとまらないのかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（岡本眞利子） 暫時休憩をいたします。

（暫時休憩）

○委員長（岡本眞利子） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

いろいろなご意見をいただいたのですが、最終的には幕別町議会のあり方ということは、将来の望みとか課題、改善点を出していただく、結局は住民との距離を縮めていくにはどうしたらいいのだろうということについて、もっと深めていく必要があるのではないかと。活性化ということは住民との距離を縮めて、住民に分かってもらうことによ

って、幕別町議会のあり方ということにもつながっていくのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

一概には言い切れないのですけれども、住民との距離を縮めるのはどんな改善点があるのかなということを出していただく、いろんな方向であると思うのですけれども、常任委員会の考え、報告会でももっと住民との距離を縮めるにはどうしたらいいのだろうということにもつながってくるのではないかな。そこを改善していくことによって、将来の幕別町につながっていくのではないかなと思いますが、それについて次回、みなさんで幕別町の住民とコミュニケーションをとるにはどういうことをしていけばいいのかなということを出していただくというのはいかがでしょう。

いろんな方向があるかと思うのですが、広報広聴委員会ではもっとこういうことをやったらいいのではないかな、委員会ではこういうことをすることによって、もちろん委員会でも、住民との意見交換会もやっているのですけれども、もっと理解してもらうためにはどうしたらいいだろうかなという改善点を出していただくという方向につなげて、次の委員会でみなさんに持ち寄っていただき、また、今回の委員会でもこんなことを知りたいということがあれば、事務局に言っていただいて、資料を用意していただくなどして、資料を見ながらということにもつながっていくのかなと思うのですけれども、局長どうでしょうか。

議会事務局長。

○事務局長（佐藤勝博） 事務局といたしましては、可能であれば、次回の会議の前に各委員から事務局にご意見をお寄せいただき、事務局で集約し、整理したものを次の会議でお示しし、そこから議論を進めていくことが望ましいと考えております。

また、委員長もおっしゃっていただきましたが、議論を深めていく上で、必要な情報や資料がある場合には、事前に事務局に伝えていただきましたら、出来る範囲で準備してまいりたいと考えておりますので、お願いいたします。

○委員長（岡本眞利子） いかがでしょうか。

小田委員。

○委員（小田新紀） 確認です。

今後の見通しとして、1段階目として今、おっしゃられたようなご提案を次にということですが、次の幕別町議会のあり方について議論しているので、いわゆる内部の議会運営のほうも、委員会のあり方とか、そういうことについてはまた次の機会に議論する予定という考えなのか、議会のあり方についてというのは、住民との距離の縮め方についてとかそういったことで、ひと段落つけるというかそういった見通しなのか、どうなのでしょう。二つあるのかなとは、さっき休憩中だったので、あれだったのですけれども。

○委員長（岡本眞利子） 幕別町議会のあり方から今は進んで、議員定数、報酬の見直しについては、最終的には結びつくようなスケジュールでいきたいと思っております。ただ、5月14日に臨時会で、その後は後期の委員に変わってしまうということも頭に入しながら、進めていくつもりだったのですが、ちょっと足踏みしている状況ではあるので、スケジュールもちょっと変わっていくというのもあるのですけれども。

小田委員。

○委員（小田新紀） わかりました、ありがとうございます。

ひとまず、次回、広報広聴のあり方について議論しようというおさえでよろしいでしょうか。

○委員長（岡本眞利子） 暫時休憩いたします。

○委員長（岡本眞利子） では、再開させていただきます。

次回の会議につきましては、幕別町議会のあり方について、住民との距離を縮めるためにはどのようにしたらいいのかということと、各常任委員会の活性化には、広報広聴委員会も含まれますが、ここもどのように改善していけばいいのかということを含めまして、次回の会議に諮ってまいりたいと考えております。

次の委員会の開催日程についてであります。委員会の日程はどのようにしたらいいでしょうか。

委員長、副委員長に一任していただいてもよろしいでしょうか。

都合が悪い日はありますか。

（発言あり）

○委員長（岡本眞利子） あまり期間をおくと、議論が戻ってしまうということもあり、5月14日で委員会構成も新しくなりますので、現委員のメンバーでもう一度委員会を開催したいと思いますが、異論はございませんでしょうか。

（異議なしの声あり）

○委員長（岡本眞利子） 日程は、事務局と相談しながら、出来れば4月中に行うことができるように調整してまいりたいと思いますが、正副委員長に一任していただくことで、よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

次に3、その他についてであります。この際、何かございますか。

（なしの声あり）

○委員長（岡本眞利子） 事務局から何かございませんか。

（ありませんの声あり）

○委員長（岡本眞利子） 以上をもちまして、本日の案件は終了いたしました。

これをもって、本日の委員会を閉会いたします。

（11：13終了）